

えんがわ

第22号

2009年1月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

在宅医療の現状

明けましておめでとうございます。衣笠病院グループに8施設ある中で、昨年一番の実績をあげ、高い評価を受けたのは湘南国際村クリニック在宅診療チームです。しかも、開設してから丸2年の短期間での実績です。その原動力は大友所長・金井医長を中心としたスタッフのスピード溢れる連携の良さです。

す。2015年には更に増えて、30.1%が想定されています。在宅医療の取り組みが不可欠になる要因です。在宅医療の課題には、医療・保健・福祉の連携による支援体制の整備を優先しなければなりません。何と言っても複数の病気を持つ高齢者に患者を総合的に診療管理できるプライマリケア医師の確保が必要です。

衣笠病院在宅医療チームにはそうした条件をクリアされている医師に恵まれていることを感謝します。

衣笠病院 事務部長
古屋 修身



えんがわにひびくとんがくちやかモ電

デイ

開設から6年目を迎えたデイサービスではホットな行事が満載です。11月には秋の運動会と称して大玉運び大会を行いました。玉の代わりに大きな風船を使つたため、大玉の登場とともに熱い視線とざわつきが起こりました。「何が起きるのだろう？」と目をパチクリする人もいました。司会者のかげ声で皆さんの興奮も急上昇！勝負魂に火がついた瞬間と言っても間違いではないかもしれませぬ。

チーム対抗で行った運動会！定番曲が流れる中、精一杯手を伸ばして玉を運ぶ人、笑顔でチームを応援する人、勝利を目指して気合を入れて人など、普段

見ることの少ない動作や表情で、活気あふれる温かい時間となりました。帰りの車中では勝利チームの喜びや次回への作戦など皆さんのハツラツとした会話がとても印象的です。寒い季節が続きますがデイサービスへ参加し、多くの人と交流すること、冬の寒さを吹っ飛ばしてくれたら良いなと思います。

長瀬ケアセンター
デイサービス
介護福祉士 片倉恵子



明けましておめでとうございます。寒さの厳しい毎日ですが、明るく初春を迎えたいと思います。今年も、衣笠病院グループ・在宅支援部門を宜しくお願いいたします。